



Title	漢詩文と定家の和歌
Author(s)	長谷, 完治
Citation	語文. 1966, 26, p. 27-37
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/68572">https://hdl.handle.net/11094/68572</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

(三七頁からつづく)

2 井上宗雄・松野陽一両氏翻刻の本文による(和歌文学研究・第十五号)。

3 久松清一氏が「中世文学」第八号に紹介された為秀筆の本文による。

4 源氏物語と漢詩文との関係については池田亀鑑氏編「源氏物語事典」下巻、丸山キヨ子氏の「源氏物語と白氏文集」古沢未知男氏著「漢詩文引用よりみた源氏物語の研究」より多大の学恩を蒙った。

5 国文学論叢第三輯「平安文学 研究と資料」六八頁。

6 栗花落栄氏「本歌取考」(国語国文・昭26・9)。

7 日本古典文学大系「平安鎌倉私家集」による。好忠集中でも尚書禪門本・狩野文庫本(ともに古典文庫所収)では傍線部が「さむさをねかる」となつていて白詩に近い。

8 「藤原定家の十題百首」(文芸研究・第48集)。

▽特に註記した資料を除き、引用は全て正・続・続々群書類從、能勢朝次氏編「歌評の精舎 六百番歌合」、日本古典文学大系「歌論集能楽論集」に掲つた。